



秋… 深まる学び

授業が始まる前には、各自着席して静かに眼を閉じます。心を落ち着けて学習に備えます。「姿勢！□時間目のお勉強を始めます。」



入学から半年が過ぎた1年生の教室です。一日の生活のリズム、毎時間の学習の約束事が体に染み込んできており、しっとりと学びに集中する様子が見えます。小学校に入学してから、子供たちの生活はどのように変わったのでしょうか。

幼児期の学び(遊び)



- ・各自が好きな遊びに没頭できる
 - ・時間や場所もある程度自由度がある
- ☆保育者は、興味を引くようなモノを用意したり、場をつくったりして遊びに集中する環境を整える。
- ◎学びへの興味・意欲…「学びの眼」を育てる。

小学校の学び



- ・教科等の学習内容や時間が定められている。(好き嫌いにかかわらず、学習する)
- ☆教師は、子供が学習に興味を抱くように学習の導入(動機付け)を大切にする。
- ◎「〇〇がわかる」「△△ができる」ようにするとともに、さらなる学びの意欲を育てる。

自由に遊ぶことができた幼児期から、6歳の4月を境目にして何かと制約のある生活になります。このことをストレスとして感じてしまうと、心や体にいろいろな問題が起きてきます。私たち小学校の教員は、子供たちが戸惑うことのないように、幼児教育と小学校教育を“つなぐ”この接続期の教育を大切にしています。

- 子供が「おもしろそう」「やってみたい」と感じるような学習を設定する
(やらされる学習ではなく、興味を持って主体的に取り組むことができるように)
- 少しの向上も見逃さず、適切な言葉で称賛し、自信とやる気を抱かせる。

子供たちの学びがさらに深まるよう、保護者の皆様もお声かけをお願いします。

“意識”は“行動”を変える

5・6年生の委員会活動の仕事を紹介します。

写真は、美化集会委員会が作成した

くつを並べよう キャンペーン のポスターです。子供たち一人一人が気を付けて、靴が美しく並んでいたならシールを貼るように工夫しています。

この取組によって、子供たちが脱いだ後の自分の靴について“意識”するようになったのです。靴箱からはみ出していようが、ひっくり返っていようが気にしなかったのに、この取組でかかとを手でそろえて置くようになりました。ほんのちょっと意識すると行動が変わります。



「校長先生！ぼくたちの靴箱を見てください！」廊下を歩いていると、1年生のお友達に呼び止められました。自分たちの靴の並び方に自信満々です。なんとすばらしい子供たち…。思わず写真に収めました。また、その次に出てきた言葉がまたすてきでした。「2組さんもきれいですよ。そっちも撮ってください。」

先週は6年生の靴箱を紹介したのですが、学校全体に広がっています。



はきものがそろろうと
心もそろろう

タブレット端末 正しく使いましょう

大村市教育委員会は、すべての児童生徒にタブレット端末を貸与しています。

- 興味を持ったことを、各自が自分のペースで調べることができる
- 調べて「わかったこと」や「考えたこと(意見)」などを、共通の場所に示し、発表し合うことができる
- 家庭でも学習を進めることができる

タブレット学習のよさはたくさんあります。

一方で、学習以外の目的で使用するなど、『正しくない使い方』をする事例も起こっています。各家庭においてタブレット利用の『10の約束』親子で確認し、正しく有意義に使えるようご指導をお願いします。保護者の皆様のご協力をお願いします。

